

令和元年度 那霸市在宅医療・介護連携推進事業

「那霸市入退院支援連携ルール及び情報共有ツール運用」に向けたキックオフ集会

○日 時：令和元年8月28日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○参加者：189名

●那霸市在宅医療・介護連携推進事業について

高江洲 あやこ

●那霸市入退院支援連携ルール及び情報共有ツール運用について

新垣 哲治 氏

●各職種からの報告

ケアマネージャー：仲田 昌雄 氏

地域包括支援センター：宮城 能則 氏

看護師：大城 和枝 氏

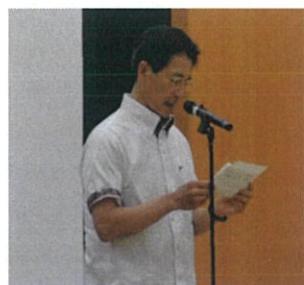
リハビリテーション：末吉 珠代 氏

M S W：當銘 由香 氏

薬剤師：笠原 大吾 氏

管理栄養士：近藤 幸祐 氏

沖縄県M S W協会：伊禮 智則 氏



開会の挨拶：山城 千秋 氏



主催者挨拶：城間 幹子 氏



閉会の挨拶：喜納 美津男 氏

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

The collage consists of several photographs arranged in a grid:

- Row 1: Highichiwa Ayako (高江洲 あやこ), Shinya Tetsuji (新垣 哲治 氏), Naota Masao (仲田 昌雄 氏), Miyagi Noretoshi (宮城 能則 氏), Hiroko Ochiai (大城 和枝 氏), Maki Nakao (末吉 珠代 氏), Yuka Matsuo (當銘 由香 氏).
- Row 2: Taira Taiju (笠原 大吾 氏), Kotono Kiyotaka (近藤 幸祐 氏), Iriki智則 (伊禮 智則 氏), Overall scene (全体風景).
- Row 3: Group photo of all participants (全体集合写真),宣誓 ceremony (キックオフ宣言).

日時:令和元年8月28日(水) 午後7時00分~9時00分

場所:沖縄県医師会・3階ホール

参加者:189名

回答者:29名

回収率:15%

1. 「那覇市入退院支援連携ルール及び情報共有ツール運用」について、ご意見をお聞かせください。

- ・「連携がうまくいかず、ケアプランに落とすことができず、入退院を繰り返した」というお話をしていたが、具体的にどのようなケースか?を知りたい。
- ・包括の職員なので、そこまで関わっていない方だと、うめられるかな…と不安。(Plan持たないので…)
- ・とても良いことだと思う。ツール・ルールが確定すると色々と情報のやり取りが便利になると思う。
- ・フォームを統一したことで多職種の役割が分かりやすく、お互いが見やすく伝えやすいと思う。
- ・ケアマネの負担が大きいと少し感じた。
- ・ツールが運用できるよう、協力していきたいと思う。
- ・運用することで住民が受ける支援の差がなくなる事、連携の壁・差がなくなる事を期待し、活用・運用していきたいと思う。
- ・実際使ってからになるとは思うが、サマリーについて業務に支障がない程度で行いたい。
- ・このようなツールができ、多職種の合意形成が一步でも進むことを期待する。
- ・那覇市内でも、このようなツールが全職種で共有できたら、とても良いなと思った。
- ・サマリーが統一になると見やすい情報共有が出来ると思った。
- ・細かい内容で長期間かかって作成された事、感謝します。まだ、医療との連携がうまくいっていない現状なため、情報共有ツールがあると助かる。
- ・今後もみんなで協力して、もっと良くしていければいいと思った。
- ・那覇市の利用者の疾患の重度化防止を目標に、チームは今後も連携を強化するアイテムと思った。
- ・共通理解ができる。
- ・とても良いと思う。有難い限りです。ルール作りとても大変だったと思うが、より働きやすくなると思う。
- ・業務多忙の中、どれだけサマリーを作つて情報共有できるか未知数ですが、頑張ってみます。
- ・診療報酬との兼ね合いもあり、初めは理解するまで時間を要したが、進むにつれて必要性を強く感じた。
- ・ようやくスタートできることを嬉しく思う。初めての取り組みであり、今後改定が必要になることもあると思うが、まずは今回作成したシートを必要時、必要な方に活用できる方に確実に届き役立つことを願います。
- ・情報をどこに迅速に共有していくか、大切なことなので今回の取り組みは評価できると思う。
- ・各関係機関が共通の認識を持って、連携を図るための素晴らしいルール・ツールが出来たと思う。これが広く活用され、市民の方々の安心に繋がることを期待しています。
- ・導入時は大変だと思うが、情報共有が上手くいけば患者・家族、医療者等みんなにとって良い流れになれば良いと思う。

2. 「ていーあんだールール～入退院支援連携コンセンサスブック～」について、ご意見をお聞かせください。

- ・A4サイズなど、もう一回り大きいと良いと思った。
- ・コピーして使える“まっさら”的ものもあると嬉しかった。(PCが共有なもので…)
- ・“コラム”はなるほど!と感じることもあった。
- ・吹き出しがあり、注目するポイントが分かって良いと思った。(カラー写真等があり)
- ・本格的なパンフレットになっていて、分かりやすいと思った。
- ・患者・家族にとって、良い連携が取れると良いなと思った。
- ・サマリーについては、各職種の方の思いが詰まっていて、すごいと思った。活用されると良いなと思う。
- ・50ページ以降の資料が、とても参考になると思った。
- ・病院の想いが少しは理解できた。
- ・ポイント、情報の記載がありプラスαのものとして、とても良いと思う。改良しながら活用できたらと思う。
- ・入院時の情報提供の様式を複数使っていました。さっそくダウンロードします。
- ・少し誤字はあるが、標準化を図るために良い。見やすく読みやすい。
- ・作成に関わった方々、大変お疲れ様でした。是非、積極的に活用したいと思う。

令和元年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
「那覇市入退院支援連携ルール及び情報共有ツール運用」に向けたキックオフ集会 アンケート集計結果

日時:令和元年8月28日(水) 午後7時00分～9時00分
場所:沖縄県医師会・3階ホール

参加者:189名
回答者:29名
回収率:15%

- ・見やすい作りになっているので、理解しやすいかと思う。
- ・各専門職の想いや課題などを踏まえているので、分かりやすく尚且つ細かい内容と思います。ありがとうございます。
- ・これからの業務の参考にさせていただきます。
- ・たくさんの会議を重ねての、このブックだと思います。ありがとうございます！
- ・写真もあり、字も大きく思いが伝わってきます。手に取りやすい冊子になっています。
- ・受け手側が短時間で内容が読み取りやすい構成だと感じた。また、現状態だけでなく「予後」もあるで、関係者がイメージしやすい方が良いと思った。
- ・入院時の介護認定申請が行ないやすいように感じた。
- ・とにかくネーミングが最高だと思った。「ていーあんだールールにのっとってる？」とスタッフで確認します。
- ・すごく良い取り組みだと思う。作成ありがとうございます。沖縄内全域で広げられたら良いと思った。
- ・各職種一人ひとりがまずは目を通して、共通認識を持つことが大事ですね。
- ・患者や利用者の言葉が合間にあって、面白いと思った。カラーがとても見やすくて良い。
- ・手に取りたくなるような表紙で、内容も他職種から見ても分かりやすい説明が加えられていて、素晴らしいツールが出来たなあと感じた。
- ・多くの方に活用していただきたいと思った。
- ・内容ももちろんだが、構成やレイアウトも読みやすい工夫がされていると思った。
- ・デザインが良い。

3. その他、本日のキックオフ集会のご感想、ご意見やご質問等がありましたら、お聞かせください。

- ・会場の沖縄県医師会は少し遠かった。
- ・シートで、認知症の方の状況がもう少し理解できる内容で記されているとありがたい。（A D L、I A D Lが何とか出来ていると、このシートでは、ほぼ元気な人になってしまいます。この“療養上の問題”だけで伝えるのは厳しいなあ…）
- ・多数の方が参加していて関心の高さを感じることが出来た。
- ・案内文の時間内に終了してほしかった。
- ・サマリーを統一することは情報共有、知りたい情報がすぐに分かるので良いと思う。
- ・良い機会、節目ができ、良い集会だと思った。
- ・これから、このような取り組みが必要と感じた。
- ・それぞれの職種の声が聞けて良かった。
- ・時間配分はもう少し管理しても良いかと思います。オーバーしたので。
- ・開催時間は勤務時間に支障がなく、場所は駐車場が十分で良かった。
- ・集会の進行がスピーディーで良かったし、楽しかった。
- ・タイムスケジュールは守りながら進めていっていただきたい。過程の話が長すぎる。
- ・素晴らしい集会でした。
- ・他職種が多く集まり、意見交換した結果を確認できて、素晴らしい会になったと思う。
- ・年間何回か多職種による懇親会を希望したい。
- ・他職種で共有した時間を過ごすことができ、大変良かった。
- ・説明が分かりやすかった。
- ・時間も参加しやすく良かったです。
- ・自分が専門職という自覚を改めて感じた。
- ・ふだん顔を合わせることが難しい方々が一同に集まって情報シート内容を共有できることにワクワクしました。今後も数年に一度でも直接顔を合わせて、状況報告やディスカッションをしたりする場が定期的にあると日常業務にも活かされより良い連携に繋がり、患者さんに還元できるのではないかと考えます。在宅医師の想いなども、ぜひ直接お聞きしたい。
- ・本日この日を迎えるまで大変な労力を費やされたと思います。お疲れ様でした。関わった方々の想いが伝わるキックオフ集会でした。